

第8グループ【生涯学習・スポーツ分野】

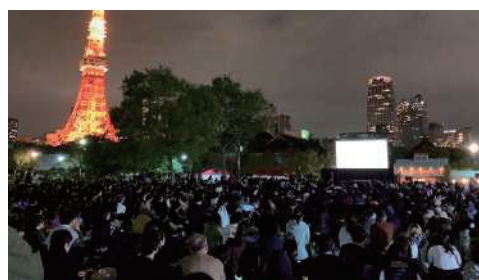
みなとタウンフォーラム・第8グループ
生涯学習・スポーツ分野

令和2(2020)年3月23日

みなとタウンフォーラム第8グループ [メンバー]

小澤 美知子 金澤 智佐子 久保 善正
小林 唯 中原 晃治 古澤 尚子

※メンバーは五十音順



提言にあたって

第8グループ【生涯学習・スポーツ分野】

私たち第8グループは、生涯学習・スポーツ分野について、メンバーの興味・関心に基づき、「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」、「スポーツに親しむ機会の充実」の2つのテーマに分け、全8回にわたり、グループ会議で議論を重ねてきました。

提言書の作成にあたり、各テーマで同様の議論が行われたことを踏まえ、あらたに「地域資源やICTを活用した生涯学習・スポーツ施策の推進」をテーマに加え、3つのテーマで提言を取りまとめることとしました。

私たちは、区民の生涯学習・スポーツを推進するための課題として、区民の関心が低いことや無関心層と行動層の二極化が懸念されること、生涯学習・スポーツが地域とつながるきっかけになるということに対する認識が低いこと、普及啓発・情報提供手段のさらなる工夫が必要ではないかといった議論を行ってきました。

また、より多くの区民が生涯学習・スポーツに主体的に取り組んでいくことで、港区の歴史文化に対する理解が深まり、友人や知人が増えるというだけでなく、区の特徴でもある産業分野との連携など、魅力的なまちづくりにもつながっていくのではな

いかといった、今後の新たな展開に対する議論も行われました。

今後も区の人口増加が見込まれていることや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を目前に控えていること等をふまえると、年齢や国籍、障害の有無に関わらず、だれもが地域において生きがいをもって、学び合い、スポーツを楽しむ環境を充実していくことは重要になると考えられます。

私たちは、次期港区基本計画の計画最終年度末（令和8（2026）年度末）に向けて、「多種多様な人が活躍できる機会が平等にあり、学び、挑戦する生き方が区民同士の刺激や生きがいとなっている」「する・みる・支える視点からスポーツに親しむ機会が充実している」「地域資源やICTが活用され、だれもが生涯学習・スポーツを身近に感じられ、誇りに思える」まちを実現したいとの思いで意見を交わし、これまでの議論を踏まえ、第8グループの提言として取りまとめました。

この提言が、令和3（2021）年度からの次期港区基本計画に反映され、区民のだれもが身近な場所で生涯学習やスポーツに取り組む、地域においていきいきと過ごすことができるまちになることを期待します。

提言の体系

テーマ	提言内容（具体的な事業）
生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実	地域に出るための背中を押す取組
	学びを共有する機会の充実
	企業等と連携した地域の子どもの学びの機会の充実
スポーツに親しむ機会の充実	誰もが楽しみ交流できるスポーツを通した共生社会の実現
	ゆるスポーツ文化の醸成
	スポーツを通した地域貢献の機会をつくる
地域資源やICTを活用した生涯学習・スポーツ施策の推進	生涯学習・スポーツとは異なる分野と連携した取組の実施
	区民等参加者による生涯学習・スポーツ情報発信の仕組みづくり
	プッシュ型情報配信の充実

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域・コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

テーマ① 生涯学習の学びの成果を生かす 機会と知る機会の充実

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

多種多様な人が活躍できる機会が平等にあり、学び、挑戦する生き方が区民同士の刺激や生きがいとなっているまち

実現に向けた課題

- 生涯学習に取り組むことになじみがない区民が多い（生涯学習を実施しているという認識がない）。
- 生涯学習の意義の普及啓発や再定義が必要ではないか。
- 生きがいづくりや地域での活動に対する、区民の関心喚起が必要。
- 年齢や国籍、障害の有無を越えて交流し、共に生涯学習を行う場や機会が少ない。
- 生涯学習施設は充実しているが認知度が低く、知る機会も少ない。
- 生涯学習に関する情報発信にネットやSNS^{※1}等がうまく活用できていない。

取組の方向性

人生100年時代を見据えて、多様な区民が地域において気軽に、生きがいをもって活動していくことができる環境を充実していく。

特に次世代を担う若年層が主体的かつ自主的に生涯学習に取り組めるよう促進し、若年層から他世代へはたらきかける機会も充実していく。

具体的な事業

①地域に出るための背中を押す取組

学びの成果を地域で生かすまでの段階で一步背中を押し、サポートを充実させる。そのためまずは、サポート事業実施に向けて意識調査を行う。

②学びを共有する機会の充実

盆踊りなど地域のイベントの際に、学びの成果を発表する機会を組み込めるよう区・地域が一体となって生涯学習の取組を支援し充実させる。生涯学習として各地域で行うことで多世代の交流を促進する。

③企業等と連携した地域の子どもの学びの機会の充実

地域の住民の関心に応じて、区内企業等に学びの機会を提供してもらう。また、区内企業等への機会提供の依頼活動を区民が実行委員となり、行うことができる仕組みをつくる。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- ①区民参画会議等に積極的に参加し、学びの成果を地域で活かしやすい環境について検討する。
- ②区内にある大使館への訪問や普段公開されていない施設の開放を働きかけるといった、新たな学びの場づくりに主体的にかかわる。
- ③学ぶ機会を区内企業等からも提供してもらえるよう、実行委員となり、区内の企業に営業活動を行う。

※1 SNS：「Social Networking Service」の略で、Web上で社会的ネットワーク（ソーシャル・ネットワーク）を構築可能にするサービスのこと。

テーマ② スポーツに親しむ機会の充実

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

【「する」スポーツ】

日常的にスポーツに関わることができ、スポーツを通じた多様な交流が行われているまち

【「みる」スポーツ】

いつでも、どこでも、だれとでもスポーツの感動を共有できるまち

【「支える」スポーツ】

学校・家庭・地域・区内企業等が連携してチャリティやボランティアの精神をもってスポーツをささえているまち

実現に向けた課題

【「する」スポーツ】

- スポーツを気軽に始めるきっかけが少ない。
- スポーツ施設は多いが認知度が十分ではない。
- 多世代が参加できる機会や場が十分でない。
- 女性がスポーツをしやすい環境が十分でない。

【「みる」スポーツ】

- パブリックビューイング^{※1}の実施等、観るスポーツを推進する場がある。

【「支える」スポーツ】

- チャリティイベント、ボランティア活動、ドネーション^{※2}への参加意欲が十分でなく、それらに対する啓発や環境も十分でない。

※1 パブリックビューイング (public viewing) : 公園・広場の特設会場などに設置された大型スクリーンで、別の会場で行われているスポーツの試合を観戦すること。

※2 ドネーション (donation) : 寄付。寄贈。贈与。助成。

取組の方向性

【「する」スポーツ】

子どもから高齢者、障害者、外国人等の多様な区民等がスポーツを楽しんでいる写真や動画を使用するなど、スポーツ施設やイベントの情報発信を工夫しスポーツへの関心や取り組むきっかけを増やしていく。

【「みる」スポーツ】

パブリックビューイングなど、スポーツの感動や興奮を共有する機会を積極的に増やしていく。

【「支える」スポーツ】

「ご近所さんと」「気軽に」「みんなと」スポーツを通して地域に関わっていく雰囲気をつくりあげていく。

具体的な事業

①誰もが楽しみ交流できるスポーツを通じた共生社会の実現

スポーツの得意不得意、障害の有無、子どもから高齢者、外国人等の多様な区民等と一緒にレインボーブリッジを歩いて渡る等、誰もが楽しみながら交流することができるスポーツを実施することで「共生社会の実現」を目指していく。

②ゆるスポーツ文化の醸成

本格的なスポーツではなく、誰もが参加できる「ゆるスポーツ」を地域の運動会やイベント等で実施する。こうした機会を増やしていくことで、「ゆるスポーツ」文化の醸成やスポーツへの関心、取組意欲を増進する。

③スポーツを通じた地域貢献の機会をつくる

参加費の一部をスポーツ施設の整備や被災者支援等に寄付する仕組みのチャリティ型イベントを開催する。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- ①スポーツを通じた地域の交流を促進する企画提案、情報発信を主体的に行う。
- ②誰もが参加できる新たなスポーツを考案し、スポーツに対する関心を深めていく。
- ③スポーツを通して交流する機会を充実していくために区民等が実行委員となり、区内企業等に所属アスリートとの交流イベントの実施等の協力を得るための営業活動を行う。

テーマ③ 地域資源やICT^{※1}を活用した 生涯学習・スポーツ施策の推進

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

【港区の資源を活用した施策の推進】

区内企業やトップアスリートが所属するプロスポーツクラブ等の人的資源、水辺やみどりの自然資源、歴史的資源といった区内にある資源が、学びの場やスポーツイベント等に活かされ、区民が誇りに思える魅力的なまち

【ICTを活用した情報提供施策の推進】

生涯学習やスポーツにおいても、年齢や国籍、障害の有無にかかわらず、多様な情報ツールを活用し区民の誰もが必要な時に必要な情報にたどり着けるようICTが身近に活かされてるまち

実現に向けた課題

【港区の資源を活用した施策の推進】

- 地域資源が活用しきれていない。
- トップアスリートや彼らを支える民間事業所とより連携すべき。

【ICTを活用した情報提供施策の推進】

- 世代ごとに情報取得に活用する手段が異なっているが、十分に情報提供ができていない。

取組の方向性

【港区の資源を活用した施策の推進】

生涯学習とスポーツといった分野においても事業実施に際して人的資源、自然資源、歴史的資源といった港区の地域資源を効果的、積極的に活用していく。

【ICTを活用した情報提供施策の推進】

区民一人ひとりの状況に応じて情報へのアクセシビリティを向上していく。

具体的な事業

①生涯学習・スポーツとは異なる分野と連携した取組の実施

ICTを活用したパブリックビューイング、防災訓練や清掃活動を絡めたスポーツイベントの実施など、他分野と連携した取組に積極的に取り組む。

②区民等参加者による生涯学習・スポーツ情報発信の仕組みづくり

思わず拡散したくなる楽しくてにぎわいのある生涯学習・スポーツの機会を増やし、区民等参加者に積極的に情報発信（PR）してもらえる仕組みづくりを実施する。

③プッシュ型情報配信の充実

個人の興味や傾向に合わせた生涯学習・スポーツに関する情報発信を行う。また、こうした仕組みがあることの周知やイベントの事前告知の強化にも取り組む。

参画と協働の推進（区民等の事業への携わり方）

①企業や地域等が実施する生涯学習やスポーツにまつわる情報を収集し、区に提供する。

②港区の特徴となる資源を活用した生涯学習・スポーツ関連のイベントへの積極的な参加や新たな企画の提案を行う。

③区が発信した生涯学習・スポーツ関連のSNS等の情報を積極的に拡散する等のサポートをする。

※1 ICT：「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で通信技術を活用したコミュニケーションのこと。

開催経過

第8グループ【生涯学習・スポーツ分野】

回数	開催日時	内容
第1回	令和元年9月27日(金) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局紹介 ・グループ会議の進め方について ・検討テーマアンケート結果について ・分野における現状と課題について ・リーダー、サブリーダーの選出 ・検討テーマの選定
第2回	令和元年10月9日(水) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議の検討スケジュール ・リーダー及びサブリーダーの選出 ・テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」に関する質疑応答 ・ワーク1「現状と課題」 ・ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」
第3回	令和元年10月24日(木) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議の検討スケジュール ・ワーク1「取組の方向性」 ・ワーク2「具体的な事業」 ・ワーク3「区民の参画と協働」
第4回	令和元年11月13日(水) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議の検討スケジュール ・(生涯学習) ワーク3「区民の参画と協働」 ・テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」に関する現状と課題（おさらい） ・(スポーツ) ワーク1「現状と課題」 ・(スポーツ) ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」
第5回	令和元年11月27日(水) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議の検討スケジュール ・ワーク1「現状と課題」の補足 ・ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」 ・ワーク3「取組の方向性」
第6回	令和元年12月11日(水) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議の検討スケジュール ・ワーク1「具体的な事業」 ・ワーク2「区民の参画と協働」
第7回	令和2年1月15日(水) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会議の検討スケジュール ・提言書（たたき台）テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」 ・提言書（たたき台）テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」 ・提言書（たたき台）テーマ3「生涯学習とスポーツの2分野を横断する提言」
第8回	令和2年1月29日(水) 18:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・提言書（たたき台）の確認

みなとタウン フォーラム 第8グループ

【生涯学習・
スポーツ分野】

提 言

議論にあたっての共通認識

- ▶ 港区はさまざまな人と多種多様な
ライフスタイルが**混ざり合う**まち
- ▶ 生涯学習やスポーツは、多様な区民が
お互いを尊重し、感動を**共有**し、
より「個」が**かがやく**きっかけになる



ラグビーワールドカップ2019 パブリックビューイング

- ▶ 「**する**」人、「**みる**」人、「**支える**」人が
年齢・国籍・障害の有無にかかわらず
感動を**共有**できた
- ▶ 一流の**アスリートと区民の距離**が近づき、
新たにスポーツ（ラグビー）に**関心**をもつ
大きなきっかけになった

「生涯学習」や「スポーツ」は

- ▶ **他の分野**とも**連携**でき、**地域の活性化**につなげていくことができる
- ▶ **関心**を**喚起**していく**工夫**が重要である
- ▶ **区民**と**民間事業者**をつなぐきっかけにもなる

「生涯学習」や

「スポーツ」を活用し、

より魅力的な

港区になることを

期待しています！

ご清聴ありがとうございました。

みなとタウンフォーラム
第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和元年9月27日（金）18時30分～20時00分

会 場：港区役所9階 915会議室

メンバー：4名（3名欠席）

事務局：5名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 事務局紹介
- 2 グループ会議の進め方について
- 3 検討テーマアンケート結果について
- 4 分野における現状と課題について
- 5 リーダー、サブリーダーの選出
- 6 検討テーマの選定
- 7 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	事務局名簿
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
4	グループ会議の進め方について
5	検討希望テーマ集計結果
6	スポーツ推進計画等

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第1回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダー、サブリーダーの選出までは事務局で進行することが確認された。

1 事務局紹介

事務局より、資料1に基づき事務局メンバーの紹介が行われた。

2 グループ会議の進め方について

事務局より、資料2に基づきグループ会議の検討スケジュールの報告が行われた。

事務局より、資料3、4に基づき提言の構成及びグループ会議の進め方について説明が行われた。

3 検討テーマアンケート結果について

事務局より、資料5に基づきグループ会議検討希望テーマ集計結果が報告された。

4 分野における現状と課題について

事務局より、生涯学習推進計画、スポーツ推進計画、参考資料に基づき、第8グループに関する施策や事業について説明が行われた。

5 リーダー・サブリーダーの選出

リーダー・サブリーダーの選出は次回会議で決定することとなった。

本日の進行は事務局が代理で行うこととなった。

6 検討テーマの選定

事務局より、以下の議論を踏まえて、検討テーマは以下の2テーマが選定された。

○スポーツに親しむ機会の充実

○生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実

(主な意見等)

参加者：提言はスポーツのみとすることは可能か。

事務局：必須ということではないが、グループの名称にもあり、生涯学習とスポーツの2つの分野の提言をいただくとよい。

参加者：スポーツとはどのようなものを指しているのか。

事務局：スポーツ推進計画P. 1に記載している。

参加者：このように競技スポーツだけでなく広く捉えているのであれば、多くの区民が参画していけるのではないか。

事務局：散歩といった気軽な運動を含めても、現状ではスポーツ実施率は高くない。

参加者：考え方として、健康づくりも入っているのはよいことだろう。

- 参加者：生涯学習について、地域の歴史などを学んで生かす機会があるということだが、知らなかったものが多い。
- 事務局：まなび屋の講座は多岐に渡っている。「知っとこみなとチャレンジ」は港区のことを知るプログラムになっている。
- 参加者：そうした取組自体を知らなかった。
- 参加者：まなび屋にはスポーツや健康づくりの講座もあるのか。
- 事務局：ある。要綱に沿って講座が開設されている。
- 参加者：様々な取組が行われているということがわかった。施策を推進していくうえで、課題は整理されているのか。一言でわかりやすい課題があるとよい。
- 参加者：それぞれの計画の中で、体系的に整理されている。
- 参加者：事業など断片的には知っていたが、こうした大きな方向性に沿って取り組まれているということは知らなかった。将来的な視点に立って、課題解決型の提言を整理できるとよいだろう。
- 参加者：長期的な視点で提言を整理できるとよい。
個人的には生涯学習とスポーツを通して世代、国籍、障がいの有無をこえた関わりを創出していくこと、区民のよりよい生き方をサポートしていくこと、区の事業の周知を強化していくことが議論できるとよいと考えている。
- 参加者：区の様々な事業を自身の生きがいにつなげていくこと、そのために区の考え方を周知していくことは重要だろう。
- 事務局：区の事業の認知度が高くないこと、e スポーツといった新しい考え方のスポーツが出てきていることへの対応なども課題として検討の余地があると考えている。
- 参加者：スポーツを通じたダイバーシティ、共生社会の実現といった視点は重要だろう。
- 参加者：健康づくりだけでなく、介護予防の視点も重要だろう。また、高齢者だけでなく障がい者もスポーツに親しむ機会があるということは重要だろう。
- 事務局：障がい者スポーツの体験会といった事業も実施している。
- 参加者：総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）の数は少ないのか。また、文化系、アート系の取組はどの程度あるのか。
- 事務局：和太鼓など文化系の活動も行われている。
青山で新たに区内3つ目のクラブが設立される。平成27年度に設立準備がスタートして、地域に根差したクラブとして運営していくという方向性が示されている。
- 参加者：浜松町にできる新たな施設にスポーカルは入るのか。
- 事務局：学校区を拠点にクラブが活動しており、その施設は現状拠点として整備される予定はない。
- 参加者：スポーカルは学校が声掛けして活動していくものなのか。
- 事務局：スポーツ推進委員が中心になって活動が行われている。スポーツ推進委員の認知度向上も課題だろう。
- 参加者：子どもが学校に通っている家庭でないと情報が入ってこないのではないか。また、子どもが学校を卒業しているとPTAとの接点がない限り情報を得る機会がないだろう。学校の近くに居住しているが、全く知らなかった。

事務局：スポーツ、生涯学習ともに、知る機会の充実は一つのテーマと考えられる。「スポーツに親しむ機会の充実」「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」という2つのテーマで提言を取りまとめていくということによいか。

また、グループ会議の進め方は、付箋式によいか。

メンバー全員：了承した。

7 その他

次回以降の開催日程については、協議の結果、原則休日を除いた毎月第2、4水曜日の午後6時半から午後8時までとすることが決定された（10月9日、10月23日、11月13日、11月27日、12月11日、12月25日）。

（閉会）

事務局が第1回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第2回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和元年10月9日（水）18時30分～20時00分

会 場：港区役所5階 子ども家庭支援部会議室

メンバー：5名（1名欠席）

事務局：4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 グループ会議の検討スケジュール
- 2 リーダー及びサブリーダーの選出
- 3 テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」に関する質疑応答
- 4 ワーク1「現状と課題」
- 5 ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」
- 6 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	グループ会議の検討スケジュール
2	提言の構成について
3	ワークショップのルール3ヶ条

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第2回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダー、サブリーダーの選出までは事務局で進行することが確認された。

1 グループ会議の検討スケジュール

事務局より、資料1に基づき事務局から説明が行われた。

2 リーダー・サブリーダーの選出

リーダー1名、サブリーダー1名が選出された。

3 テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」に関する質疑応答

(主な意見等)

参加者：生涯学習とはどういうものなのか。あらためて確認できるとよい。

事務局：計画書の1ページ目に記載されている。

参加者：前回の説明で施設が充実しているということもわかった。

4 ワーク1「現状と課題」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク1のねらいについて説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：新しく港区に転入してきた人に港区のことを歴史も含めて知ってほしいと考えている。
区内にある様々な歴史的資源について学び、伝えていくことが重要だろう。また、1回で終わるものではなく、継続的に学んでいける環境があることも重要だと感じている。
学べる場所は、区内でも地域に偏りがあるように感じている。身近な場所で学べるとよいし、離れた場所で行われている取組については、知る機会を充実できるとよい。

高齢者や身体が不自由な方にはバス等の送迎があるとよい。

参加者：子育て世代への情報発信は充実していると思うが、例えばシングルの方は生涯学習の情報への接点が少ないのではないか。地域との日常的な接点が少ない人にどのように情報を届けるかが課題になると感じている。

事務局：前回、子育て世帯は学校経由でも学びに関する情報が入るが、子育て中でない世帯は情報が入ってきにくいという意見もあった。

参加者：PTAから情報発信が行われたと聞いても、接点がなければ情報を得ることができない。

参加者：他区の詳細はわからないが、現状として施設が多いイメージがある。一方で、区を取組をまだまだ普通に生活している区民は知らないと感じている。

20代は情報を紙から得るといことはほとんどないので、情報提供の方法は年代ごとに考えていく必要があると感じている。また、そもそも区が学びの機会を提供してくれると思っていなかった。例えば民間と連携してより広い学びの機会を提供してあげるとよいと感じた。

参加者：人生 100 年時代と言われる中で生涯学習を再定義していくことが重要なのではないか。今後は健康長寿という視点で取組の柱を考えていけるとよいと感じている。生涯学習は範囲が広くすべてを充実していくことは難しいと思うので、ポイントを絞ることも重要ではないか。

まなび屋やスポーカルなど環境は充実しているので、社会参画を考えた時には心の充実、豊かさの観点が出てくるとよいと考えた。例えば引きこもりの対策となる外出の習慣化は、多世代にわたって必要な取組だろう。ライフステージごとに区切るだけでなく、世代をこえて取り組んでいくことも重要だろう。

参加者：知らないことに対して、区民も知ろうとすることも重要だろう。

参加者：人は興味を持てば主体的に動くだろう。関心喚起から行動変容につなげるという視点があるとよい。

参加者：様々な取組があるのでまずは知ってもらうところからだろう。

参加者：学び合う機会があることがよいと感じた。一方で、教えたいと考えている人に対するフォローが充実していくとよいと感じた。やりたいと思っても自信が持てない人もいるだろう。

そもそも生涯学習という単語を聞き慣れていないこともあり、言葉の周知も重要かもしれない。

情報発信については、紙媒体だけでなくインターネットの活用をもっと積極的に行っていく必要があるだろう。区のホームページにあると言われても、日常的に区のホームページにアクセスすることはあまりない。

講座やイベントの開催をもっと生活に身近な場所であるとよい。また、少し距離があったとしてもオリンピックの選手を呼ぶなど足を運びたくなるようなしかけがあるとよい。

参加者：港区であればトップアスリートも呼べるかもしれない。また、文化や芸術分野でも港区在住の魅力的な方がいれば講師としてお招きできるとよい。

5 ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク2のねらいについて説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：キャッチフレーズについては、まず生涯学習について知らないと始まらないということがあると思う。

将来像については、旅行で港区に来た外国人とコミュニケーションをとるための翻訳機が街中であって、地域の歴史などを伝えていけるとよいと考えた。海外の人でも港区の歴史や資源について知る機会が充実した状況になっているとよい。

区内にある、消えつつある伝統的な技術や工芸についてももっと身近に感じられるように、直接ふれる機会や充実した情報発信をして存続しているとよい。また区内に歴史的な資源となる場所にはもっと大きな説明の看板があるとよい。

地域における多世代交流の場や機会も充実しているとよい。地域の高齢者が子どもとふ

れあいながら昔話などを伝えていけるとよい。

参加者：キャッチフレーズについては、23区の中でも港区が突出しているということを示せるとよい。港区には外国人も多いので、そうした環境をいかした街になっているとよい。インターネットの活用とともに、支所単位で地域のコミュニティを醸成する場や機会は充実しているとよい。駅などの身近な場所で地域ごとの情報が提供されているとよい。

参加者：学び合えるまちということを示せるとよいと考えた。外国人や高齢者など多様な区民がいるということを活かした街になっているとよい。また、古き良きということと最先端ということの両方があり、それらをもっと混在していけるとよいと感じている。若い人のエネルギー、最先端の技術を街にもっと生かしていけるとよいと若い世代としては考えている。

参加者：首都圏の中でもモデルとなるような、世界で一番生きがいのあふれる街であってほしい。また、それは身体だけでなく、心の豊かさも重要だと考えている。多様な区民が主体的に取り組んでいかないと、区独自の魅力は生かされていかないだろう。オンリーワンという視点では100歳以上の人向けのオリンピックがあってもよいだろう。そうした取組を、区民のだれもが身近な場所で集い、活動していける街であるとよい。

参加者：キャッチフレーズについては、世界の最先端を学べる街であるとよいということと、「チャレンジし続ける生き方がかっこいい」と思う人が多い街であるとよいと考えた。昨今「複業」が話題にもなっているが、仕事以外の活躍の場が身近にある街であるとよい。障がいの有無や国籍に関わらず、多様な人が活躍できるという視点も重要だと考えた。また、こうした多様な人が最先端にふれ、主体的に学んでいける街であるとよい。

事務局：最先端、生きがいということに対して区民の誰もが主体的に取り組む、学んでいくことが重要であるという意見が多かった。

6 その他

協議の結果、次回開催日程は10月24日（木）となった。11月以降は、原則休日を除いた毎月第2、4水曜日の午後6時半から午後8時までとすることが決定された（11月13日、11月27日、12月11日、12月25日）。

（閉会）

事務局が第2回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和元年10月24日（木）18時30分～20時00分

会 場：港区役所9階 913会議室

メンバー：5名（1名欠席）

事務局：4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 グループ会議の検討スケジュール
- 2 ワーク1「取組の方向性」
- 3 ワーク2「具体的な事業」
- 4 ワーク3「区民の参画と協働」
- 5 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第2回グループ会議 議事要旨
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
4	ワークショップのルール3ヶ条

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第3回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダーより、資料1について確認が行われた。

1 グループ会議の検討スケジュール

事務局より、資料2に基づき説明が行われた。

2 ワーク1「取組の方向性」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク1のねらいについて説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：方向性としては子どもから高齢者までということと、健常者と障がい者ということがあると思っている。また、外国人など多様性についても踏まえながら、よく言われている「みんなと」という一体感も方向性として掲げられているとよい。

特に明確であるなら地域の課題への取組も示せるとよい。積極的に地域に顔を出している人だけでなく、困りごとや悩みなどを持っていて自立したいけど機会がない人の行動のきっかけづくりも重要だろう。

また、前回からこだわっているが体だけではなく心の健康も含めた一体感のある取組も重要になるだろう。例えば平和のシンボルのような、みんなが関わることができる目玉みたいな物があって、そこに専門家だけでなく区民のだれでも参加できるということは重要だろう。こうしたことが循環していく事業やその発展形に対して区として投資していけるとよい。

最後に、生涯現役社会と言うが、学びの場としてだれもが安心して通える場があると、それが生きがいづくりにつながるのではないかと感じている。

参加者：まなび屋はどちらかというと年配の方の知見を教わるようなものが多く、逆に下の年代から上の年代への取組が少ないと感じた。若い世代の参画の機会の向上や多様化といったことが必要ではないかと感じている。

そのためには、若い世代がメリットを感じる必要があるだろう。副業するほどではないが、誰かに教えたいと思っている若い世代も潜在的にはいると感じている。認知度向上が重要だろう。

また、必要な時に必要な情報にアクセスできるということが重要だという議論は前回もあったが、アナログとデジタルで両面からアプローチできるとよいだろう。

参加者：若年層への働きかけは一つのテーマだろう。子育て世代は小中学校やPTAなど地域と接点があると思う。そうしたところに大学生や専門学校生を巻き込んでいくことで情報は拡散していくのではないかと。

参加者：区内の事業者や大使館の協力を得ていくことが重要だろう。

参加者：最近の学生はパソコンは触らずスマートフォンのみで情報にアクセスしているということも聞く。LINE等を活用し生活に身近なところから情報を発信していけるとよい。また、講座ごとにQRコードを用意できれば情報を取得しやすくなるだろう。

認知度の向上には日常的に継続的に情報発信に取り組んでいくことが重要だと感じている。

3 ワーク2「具体的な事業」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク2のねらいについて説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：IT化やロボティクスが進んでいると言われているが現実としてどこまで進んでいるか疑問もあり費用対効果のある事業が重要だと考えた。先端技術を使うのが港区らしくてよいと思う。令和八年度にはそれが当たりまえになっているかもしれない。

参加者：学びの成果を活かすということか。

参加者：手段が重要だと考えている。みんなと共有するということでパブリックビューイングやフェスティバルみたいなものがあちこちにあったらおもしろいと思う。また、参加することとただ見ることは違うと感じており、そこが知る機会につながると感じている。

参加者：知るきっかけとして交流することは重要だろう。

参加者：生涯学習センター利用団体による文化祭的なイベントである「フェスティばるーん」は平日だが11時から20時まで開催していて、色々な人や団体が交流してにぎわっていた。

参加者：広報誌などで知ることもあると思うが口コミで広がっているということもある。一方で関心がない、何をやっているのかわからないという人もいるだろう。

参加者：港区公式のLINEがあるとよいのではないかと。LINEで友達登録すると施設の情報がプッシュ型で通知されるしくみであれば情報が届きやすいだろう。もちろん、まずは登録してもらわないといけないので、公式LINEの認知度を高めるためのイベントなどが重要になるだろう。

そこで区内の企業と連携し、ワーク1でも議論があったが、副業の一步手前といったかたちで教える経験を積みたいと考える若い人を集められるとよい。

参加者：生きがいにつながるような学び合いの機会に、企業を入り口として若い人を巻き込めるとよい。また、クラウドファンディングや寄付で資金を募るなど、企業にもメリットのある方法も考えていけるとよい。

企業連携では夏休みとかに子ども向けの企画に協力してもらえるとよい。また、企業の施設などで、普段子どもが入れない場所に足を運ぶ機会があるとよい。

参加者：講座ごとにQRコードがあればすぐに情報を得ることができてよいと感じている。若年層の関心喚起には、このタウンフォーラムのような機会があるとよいと感じた。大学や企業の若い人が生涯学習について考えるよい機会になるだろう。

参加者：大学には社会人向けの講座もあり、費用的にも入りやすく、一定の期間でしっかりと学ぶことができる。

参加者：先ほど「フェスティばるーん」という話があったが、そうした区民の積極的な活動を港区が表彰する制度があるとよいのではないかと。

参加者：区民が楽しめるユーモラスな賞があるとおもしろい。

4 ワーク3「区民の参画と協働」

会議時間の都合上、ワーク3は次回会議で検討することとなった。

5 その他

協議の結果、次回開催日程は11月13日（水）となった。11月以降は、原則休日を除いた毎月第2、4水曜日の午後6時半から午後8時までとすることが決定された（11月27日、12月11日、12月25日）。

（閉会）

事務局が第3回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第4回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和元年11月13日（水）18時30分～20時00分

会 場 : 港区役所9階 研修室

メンバー : 3名（2名欠席）

事務局 : 4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 グループ会議の検討スケジュール
- 2 （生涯学習分野）ワーク3「区民の参画と協働」
- 3 テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」に関する現状と課題（おさらい）
- 4 （スポーツ分野）ワーク1「現状と課題」
- 5 （スポーツ分野）ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」
- 6 その他（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第3回グループ会議 議事要旨
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
4	ワークショップのルール3ヶ条

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第4回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダーより、資料1について確認が行われた。

1 グループ会議の検討スケジュール

事務局より、資料2に基づき説明が行われた。

2 (生涯学習分野) ワーク3「区民の参画と協働」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク3のねらいについて説明が行われた。
リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：スマートフォンが中心の世の中になってきているので、高齢者でも若い人でも使い方がわからないと遅れてしまう。使い慣れている人が教えあったり仲間に引き込んだりするような関わり方ができるとよい。参画という視点では、教える立場になるか。そういうコミュニティに関わりたい人は多いだろう。

また、リーダー、サポーター、コーディネーターといった関わり方を明確にしていけると参画しやすいだろう。

参加者：ITの活用については企業と関わりを持てるとよいだろう。企業が参画してくるように区民が飛び込み営業をしていけるとよい。企業側もメリットを感じれば、参画できるだろう。

参加者：かつてメセナなど企業が積極的な時期はあったが、今はそうでもない。そこに区民があらためて働きかけていくというのはおもしろいと思う。

参加者：若年層の参加の仕掛けとして、高齢者にSNS等の使い方講座を開催していくことができると思う。年代間の交流を通してギャップを埋められるとよい。

参加者：立候補を待つのではなく、参画しやすいしくみづくりに取り組んでいくことは重要だろう。

事務局：企業連携の議論の中で「企業は資金面でのバックアップができるとよい」ということ、参画と協働という議論の中で「非公開の施設へ区民と区で連携して場の開放を働きかける」ということがあげられていたと思うので、整理させていただいた。

3 テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」に関する現状と課題（おさらい）

事務局より「スポーツに親しむ機会の充実」に関する現状と課題について説明が行われた。

参加者：高架下など屋外で音が出せる場所はあるのか。

事務局：生涯学習センターと青山生涯学習館という施設がある。青山生涯学習館は住宅地の中にあり、オープン時から音が出る活動は止めて欲しいという強い要望が近隣住民からあった。団体から夜間も貸し出して欲しいという声もあるが音や光の問題について現時点で近隣住民と話し合いをしているという状況がある。芝公園や増上寺では取組も進められているが、できる場所をうまく活用していけるとよい。

4 (スポーツ分野) ワーク1「現状と課題」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク1のねらいについて説明が行われた。メールで事前に提出のあった欠席委員の意見について、事務局より説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：秩父宮がラグビーの聖地になっていることは特徴だろう。また、芝公園など緑が多い点をスポーツとうまく組み合わせていけるとよい。緑や神社仏閣も多いことから、そこにスポーツや文化を融合していくことができるのは大都会の中では珍しいだろう。

参加者：高齢者から赤ちゃんまで親子三代でスポーツを通じた交流を推進できるとよい。人生100年時代ということを考えると四世代、五世代の交流も出てくるかもしれない。

参加者：スポーツの文脈から食事や栄養などサイエンスに接点を持つことも重要だろう。

参加者：スポーツに関する情報を区に求めているという現状もあるだろう。健康に関する知識などはテレビ等民間ベースで情報を入手しているだろう。施設についての情報も区から得られるということを区民がどこまで認識しているのかわからない。

一方でラグビーのパブリックビューイングに2,000人集まったのはすごいことである。今後観るスポーツを推進する場があることは、スポーツに親しむきっかけになるだろう。また、区がこの経験やノウハウを持っていることも重要だろう。

しかし、スポーツ施設は多いと思うが認知度が十分ではないのではないかと。また、スポーツする為にわざわざ電車に乗らないと思う。歩いて行ける身近な場所があるとよい。

参加者：ランニングを外でしようと思っても排気ガスが気になって外ではできない。施設を活用していけるとよい。

参加者：イギリスではフットパスなど、自転車と歩く人とがきちんと分かれていて、散歩などもしやすい環境がある。

5 (スポーツ分野) ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」

会議時間の都合上、ワーク2は次回会議で検討することとなった。

6 その他

協議の結果、次回開催日程は11月27日(水)となった。次回以降は、原則休日を除いた毎月第2、4水曜日の午後6時半から午後8時までとすることが決定された(12月11日、12月25日)。

(閉会)

事務局が第4回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第5回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和元年11月27日（水）18時30分～20時00分

会場：港区役所9階 研修室

メンバー：6名

事務局：4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 グループ会議の検討スケジュール
- 2 ワーク1「現状と課題」の補足
- 3 ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」
- 4 ワーク3「取組の方向性」
- 5 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第4回グループ会議 議事要旨
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
4	ワークショップのルール3ヶ条

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第5回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダーより、資料1について確認が行われた。

1 グループ会議の検討スケジュール

事務局より、資料2に基づき説明が行われた。

2 ワーク1「現状と課題」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク1のねらいについて説明が行われた。
リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：子育て中でスポーツができないパパママが多いと感じている。安心して一、二時間スポーツができるよう託児の環境を整備できるとよい。

参加者：近所で誰でもできるお散歩広場のような場があるとよい。多世代交流や公園、神社仏閣を知る知的な活動にもつながる。聖地巡りのような考え方もかもしれない。
心の風景・写真と付箋に書いたが、現在と過去・未来を感じ取ることができるウォーキングのような企画があるとよい。子どもから大人、障がい者も参加できる多様性の観点で、競技性はあまり必要ないだろう。

参加者：東京タワーや海といった港区ならではの環境を活かせるとよい。子どもの頃に東京タワーを登る機会があったことが今も印象に残っている。

参加者：それもスポーツに含まれるのか。

参加者：体を動かすという観点では含まれるだろう。

参加者：現状、良いと思う点として、港区のマラソン大会のステータスが向上していると感じている。都内を走る機会はありませんので、応募しても当たらないという声も聞く。こうした港区独自の環境を生かしたスポーツの機会をさらに充実できるとよい。

課題だと思える点は、日本が高齢化社会になってきているということである。港区は都内でも小学校の数が多いと聞かすが、大人と子どもと一緒に参加できるスポーツ大会があまりないように感じる。多世代が参加できる企画があるとよい。

3 ワーク2「計画最終年度における将来像の検討」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク2のねらいについて説明が行われた。
リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：区内にある企業や団体に所属するプロのアスリートから直接教わる機会が多くあるとよい。また、それに伴って質の高いスポーツ大会が頻繁に開催されるようなスポーツのまちになるとよい。一方で、逆の意見かもしれないが、親子で気軽に参加できる教室やイベントも充実しているとよい。

まちのイメージとしては、スポーツウェアで歩いていても恥ずかしくないような雰囲気
ができています、スポーツが身近なまちになっていると思う。

参加者：質の高い大会にもつながることだと思うが運動会など、成果を生かす機会が多くあると
よい。区内で稽古した成果を大人も子どもも発表する機会が充実しているとよい。

参加者：スポーツは楽しく、感動できるということが重要だと感じている。スポーツ観戦には感
動がある。港区の特徴を生かしてそうした機会を増やせるとよい。

参加者：区内には歴史のある場所や人物が多い。

参加者：文化人と競技の関連性が示せるとよい。

参加者：100年続くようなスポーツと文化があるとよい。

参加者：子どもが、一回のイベントで終わらずに継続的・日常的に集まってスポーツができる機
会があるとよい。港区に都会、おしゃれというイメージがあるのなら、それを生かせる
とよい。

参加者：ドネーションの文化やチャリティーの観点をスポーツの中でも考えていけるとよい。

事務局：スポーツには「する」「みる」の他「支える」という視点がある。ドネーションやボラ
ンティアなどが「支える」スポーツに該当する。

参加者：二点ある。一点目は、港区主催のスポーツ大会が多くあるとよい。人口も多く、企業も
集中していることから協賛を募ってもよいだろう。

二点目は、eスポーツについてである。港区はデジタルの環境も整っているので、港区
が発祥になって全国に広げていくなど、新規性の高いスポーツ大会を開催していけるよ
い。

4 ワーク3「取組の方向性」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク3のねらいについて説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：区民の50から70%くらいが参加できるスポーツ大会を開催できるとよい。「する」
だけでなく、「みる」、「支える」という参加も重要だろう。これは協働の視点や関心喚
起の取組につながっていくだろう。

参加者：公園や身近な場所で子どもから高齢者まで色々な事が体験できることが重要だろう。多
様性、多様な交流など、区として先んじて差別のない世界を目指していくという方向性
が示せるとよい。

参加者：ジェンダーや色々な問題に日本は少し遅れている感が否めない。港区として何かに特化
していくことは重要だろう。スポーツを通して国際都市ということをより強調していっ
てもよい。

参加者：手法かもしれないが、協働して学ぶという視点で、個人ではなくチームスポーツの大会
を充実していけるとよい。また、そうした大会の情報を思わず拡散したくなる、お洒落
さを周知するしかけやゲーム感覚というか「気付いたらやっている」というようなしか
けも重要だろう。

参加者：階段に消費カロリーを記載しているところもある。万歩計と連動して他人と競う取組や

企業から商品をもたらえる企画などもある。

事務局：企業を巻き込むという考え方も重要な視点だろう。

参加者：ゆるく、気軽に、みんなと、という視点で取り組み、港区から世界に発信していけるとよい。長期的な視点でみると、スポーツの概念も変わっていくだろう。その中で共生という視点は意識していきたい。

参加者：具体的な意見になるが、東京タワーの下で子どものハーフマラソンを開催できるとよい。

参加者：ちいバス内に流れるCMで施設の情報や実際の利用のようすを伝えられるとよい。身近な場所で楽しめるという情報をもっと発信していけるとよい。

参加者：施設間の相互予約システムがあるとよい。区の施設を利用しようと思った人が諦めずに済むように、別の空き施設を案内するなど利用者の取りこぼしを減らす視点も重要だろう。

パブリックビューイングにもっと積極的に取り組めるとよい。身近な場所でみる人を増やしていくことも、区民のスポーツを推進するうえでは重要な視点だと感じている。

港区にゆかりのあるスポーツ企業やトップアスリートを紹介するページが区のホームページにあるとよい。そこから区の事業に関心をもつ人もいるだろう。

参加者：情報発信については、きれいなモデルが写った写真だけではなく、現実感のあるようすを提示していくことも重要だろう。このほか、防災訓練などスポーツを通して分野をまたいだ企画を推進していくことも重要だと感じている。

5 その他

協議の結果、次回開催日程は12月11日（水）となった。次回以降は、原則休日を除いた毎月第2、4水曜日の午後6時半から午後8時までとすることが決定された（12月25日）。

（閉会）

リーダーが第5回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第6回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和元年12月11日（水）18時30分～20時00分

会場：港区役所5階512会議室

メンバー：6名

事務局：4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

1 グループ会議の検討スケジュール

2 ワーク1「具体的な事業」

3 ワーク2「区民の参画と協働」

4 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第5回グループ会議 議事要旨
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
4	ワークショップのルール3ヶ条

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第6回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダーより、資料1について確認が行われた。

1 グループ会議の検討スケジュール

事務局より、資料2に基づき説明が行われた。

2 ワーク1「具体的な事業」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク1のねらいについて説明が行われた。
リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：スポーツ大会の参加者にスポンサーから商品などを提供してもらえるとよい。

事務局：企業連携のアイデアの一つだろう。

参加者：提供時にトップアスリートから手渡しされるとさらに喜ぶ区民は多いだろう。

港区民のためのスポーツソングとダンスを作れるとよい。運動会の様子をパブリックビューイングで流すといったアイデアも個人的におもしろいと思う。

参加者：パブリックビューイングは区内の複数個所で同時開催できるとよい。会場同士を映像でつなぎ、一体感を高められるのもおもしろいだろう。

参加者：一体感を高めていくには支えるスポーツの充実も重要だろう。ボールボーイやエスコートキッズのような子ども向けの取組や外国人の言葉のサポートを充実し、多様なコミュニケーションを生み出していけるとよい。

参加者：パブリックビューイングなどの会場をアプリなどで簡単に見て他人と共有できるしくみがあるとよい。

区内のスポーツ関連企業の協賛で体験型イベントを定期的に行うこともできるとよい。

参加者：一日限定で公園等区内の様々なオープンスペースで色々なスポーツを体験できるお祭りのような催しが開催できるとよい。子どもの視点も大事にしてみる人も支える人も一緒に取り組めるような機会にしてほしい。共生という視点では障害者と健常者が一緒に来るようなスポーツに取り組めるとよい。レインボーブリッジを車イスの人も含めて歩いて渡るイベントもあってもおもしろそう。

参加者：お台場でパブリックビューイングを行う際にはレインボーブリッジも見ることが重要だろう。前回東京タワー周辺でのマラソンを開催したらおもしろいという意見があったが、地域の資源を活用しながらスポーツを推進していくという視点は重要だと考えている。

参加者：港区らしいオシャレな雰囲気イベントや近所に住む人にとっては愛着のあるイベントにもなるだろう。

参加者：ゆるゆるできるスポーツに関連して、港区の名所をトップアスリートなどの有名人と歩いて回る企画もおもしろいのではないかな。

参加者：多様性を求めていくという視点も重要だろう。港区在住の外国籍の区民だけで柔道など日本の伝統のスポーツを体験してもらう機会があってもよいだろう。

参加者：パブリックビューイングの機会も増やしていけるとよい。

大人から子どもまで、まちを歩いて楽しむ企画も実現できるとよい。街中のサインや看板をデザインするとともに、スタンプラリー形式で巡る楽しさを体験できるとよいだろう。トップアスリートとふれあう機会は充実していけるとよい。

3 ワーク2「区民の参画と協働」

事務局よりグループワークの進め方、ワーク2のねらいについて説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：障害がある方への伴走や車イスを押すことなど、ボランティアで参加するとどのようなスポーツにどういう障害がある方が参加しているか分かる。自分が健常者だと分からないようなスポーツもボランティアで参加してみると、全然知らなかったスポーツを自分も知ることが出来る。

参加者：参画というとアグレッシブな人しか参加しないイメージがあるが、参画することが嬉しいものと思えるようになるとよい。事業運営に携わった回数によって港区スポーツセンターの無料券を配布してはどうか。また、子どもが学童にいる時間を活用して、新たなスポーツの企画や考案、立案を子どもたちにやってもらうということもある。

参加者：スポーツイベントの告知ばかりでなく、子どもから高齢者まで地元の身近なスポーツの話題が記事になる新聞があるとよい。

参加者：新聞の発行が難しければ、SNSでの発信は実現性があるのではないか。

4 その他

協議の結果、次回開催日程は令和2年1月15日(水)とし、議論の進捗をふまえて1月29日(水)も開催予定日とすることとなった。会議は午後6時半から午後8時までとすることが決定された。

(閉会)

リーダーが第6回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第7回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和2年1月15日（水）18時30分～20時00分

会 場：港区役所5階512会議室

メンバー：3名

事務局：4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

- 1 グループ会議の検討スケジュール
- 2 提言書（たたき台）テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」
- 3 提言書（たたき台）テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」
- 4 提言書（たたき台）テーマ3「生涯学習とスポーツの2分野を横断する提言」
- 5 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第6回グループ会議 議事要旨
2	グループ会議の検討スケジュール
3	第8（生涯学習・スポーツ）グループ 提言書（たたき台）

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第7回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダーより、資料1について確認が行われた。

1 グループ会議の検討スケジュール

事務局より、資料2に基づき説明が行われた。

2 提言書(たたき台) テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」について

事務局より提言書(たたき台) テーマ1について説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：意識調査は実際にはどのように行うものなのか。

事務局：対象者を無作為抽出してアンケート用紙を郵送する方法などがある。

参加者：高齢の独り住まいの方を訪問する民生委員の方に協力を仰ぐという方法も効果があるかもしれない。

事務局：高齢者は直接、若い人はSNSを活用するなど世代に応じて適切な方法は変わるだろう。

参加者：年齢が上の人ほど紙で来た方がわかりやすいという人は多いだろう。

参加者：地域の情報は子どもが学校へ通っているかどうかでも、入手の機会は異なるだろう。学校には防災の日しか行かないという人もいる。

参加者：横のつながりが少ないということもある。横のつながりを広げていくことも必要だろう。

参加者：学びの成果を発表する機会が充実しているとよい。

参加者：イベントには有名人のゲストを招くと参加者が増えるということもあるだろう。

参加者：行ってみようと思うきっかけと実際に体感する機会を増やしていくことが重要だろう。

参加者：企業に協力を仰いでいく取組は対象を子どもに限定しなくてもよいと思う。

参加者：スタンプラリーのような企画で、だれでも気軽に港区の歴史や文化を学ぶきっかけが作れるとよい。

参加者：大使館や普段非公開の建物に入れる機会があれば、地域に興味を持つきっかけになるだろう。

3 提言書(たたき台) テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」について

事務局より提言書(たたき台) テーマ2について説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

(主な意見等)

参加者：実行委員として参加するにあたって、どのように募集していくと効果があるのだろうか。

参加者：世代ごとに効果的なアプローチというものは異なるだろう。

参加者：人間関係を築いていくことが重要だろう。

参加者：ゆるいスポーツという考え方は重視していけるとよい。

参加者：具体的な事業③でも他分野との連携について少しふれられるとよい。スポーツを通じた地域貢献なども大事な視点だと考えている。

参加者：話題は戻るが、自ら情報をとって動ける区民は多くないと思う。やってみようと思えるような発信の仕方が重要だと感じている。

参加者：ゆるスポーツのキャラクターなど、親しみやすく感じてもらえる工夫が重要かもしれない。

参加者：まず関心を持ってもらうためには、区からの協力依頼や魅力的なゲストの参加など、最初の段階でインパクトのある取組が必要だろう。

参加者：親世代の好きな人、子ども世代のアイドル、親子一緒に参加できるしくみなども重要だろう。

4 提言書（たたき台）テーマ3「生涯学習とスポーツの2分野を横断する提言」について

事務局より提言書（たたき台）テーマ3について説明が行われた。

リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

（主な意見等）

参加者：ICTを活用したという事は、紙は関係ないものか。

参加者：健康関連のデータや旅行のデータ等を活用する視点は重要だろう。スポーツ分野では事業者にとってもニーズのあることだろう。

参加者：デジタル環境になじめない人は取り残されるかもしれない。

参加者：盆踊りなど高齢の方も参加する場で、そうした技術を活用していく方法などを考えられるとよい。

参加者：港区専用のアプリがあったらおもしろい。

事務局：麻布地区では「地域SNSアプリ P I A Z Z A(ピアッツァ)」というアプリがある。

参加者：知らなかった。やはりこうした情報があらゆる区民に届くということがまずは重要だろう。

参加者：情報も大事だが、その先で実際に観る、体験する機会を充実していくことも重要だろう。

参加者：そのために港区の資源を活用していくという提言も大事だと考えている。

参加者：バスの車体を広告として活用したり、施設で配布されているチラシを手に取りやすいデザインにしたりと効果的な情報発信を行い、生涯学習もスポーツも取り組む区民を増やしていけるとよい。

5 その他

協議の結果、1月29日（水）の開催はリーダーと事務局での提言書の作成状況を見てから開催を決定するとすることとなった。

（閉会）

リーダーが第7回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第8回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和2年1月29日（水）18時30分～20時00分

会場：港区役所5階512会議室

メンバー：5名

事務局：4名（生涯学習スポーツ振興課長、企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名）、
委託事業者1名

■次第

（開会）

1 提言書（たたき台）の確認

2 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第7回グループ会議 議事要旨
2	第8（生涯学習・スポーツ）グループ 提言書（たたき台）

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第8回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。
リーダーより、資料1について確認が行われた。

1 提言書(たたき台)の確認

事務局より、資料2に基づき説明が行われた。
リーダーの進行のもと、意見交換が行われた。

テーマ1「生涯学習の学びの成果を生かす機会と知る機会の充実」について

(主な意見等)

- 参加者：提言書の内容は概ねよいと思う。区は様々な取組を行っているということが今回の会議でよくわかった。生涯学習とは異なるかもしれないが、区民協働スペースをもっと活用できるとよいと感じた。
- 事務局：生涯学習とは視点は異なるが、区内各支所での区民協働スペースの活用について課題意識はある。
- 参加者：区民一人ひとりが地域に出て活動していくことは今後も重要になるだろう。
- 参加者：協働という言葉は区民にはあまりなじみがなく、違いもわかりにくい。
- 参加者：区と協働するという視点で学びを生かす機会やきっかけを増やしていくことが重要だろう。

テーマ2「スポーツに親しむ機会の充実」について

(主な意見等)

- 参加者：提言書の内容は概ねよいと思う。全体会ではラグビーを例に出して、感動を共有すること、やってみようという区民を増やしていくことを伝えられるとよいのではないか。
- 参加者：参画と協働をどのように推進していけるとよいかということも伝えられるとよい。
- 参加者：する、みる、支えるスポーツについて、区の施策は充実している。どのようにきっかけを充実していくかが重要だろう。
- 参加者：関心を喚起するためのトップアスリートや企業に連携を働きかけていくというアイデアを伝えられるとよい。

テーマ3「生涯学習とスポーツの2分野を横断する提言」について

(主な意見等)

- 参加者：地域資源の活用という点で、トップレベルの人物との連携は、生涯学習、スポーツともに多くの区民の関心を喚起できるだろう。また、その際にSNS等を活用できれば若い世代にも情報が届いていく。
- 参加者：港区はそういうことが実現できる区だと感じている。
- 参加者：そもそもの議論になるが、生涯学習、スポーツに全く関心のないひとたちへのアプローチも重要だと考えている。こうしたきっかけと充実して新たに取り組む区民を増やしていけるとよい。

参加者：例えば音楽でも、一流のアーティストを呼べば「行ってみようかな」と考える人も出てくるだろう。

2 その他

協議の結果、発表者2名が決定した。

(主な意見等)

参加者：発表内容は提言書案全体を話さなければならないのか。

事務局：そういった決まりはない。

参加者：これまでの議論をふまえると、テーマ3を中心的に伝えていくことが重要だと感じている。

参加者：同意する。また、提言書を読み上げるのではなく、例を示すなど、わかりやすい表現をできるとよい。第8グループということで、聞いている他のグループの人たちも疲れてきている時間帯だろう。

参加者：写真等を使ってぱっと目を引くスライドにできるとよい。文字だけでは見ている方も面白くないだろう。

参加者：ラグビーのパブリックビューイングは区の実績としても十分なものである。写真を使えるとよい。

参加者：例示をふまえて、生涯学習やスポーツを通して地域コミュニティを醸成する、他の分野を巻き込んでいくということを伝えられるとよい。

参加者：こうした視点があるのではないかという議論を進めてきたことが伝わるとよい。

(閉会)

リーダーが第8回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上